

「学校教育目標」と「令和2年度重点目標」に向けて

文武両道の教育方針の下、豊かな人間性を培い、深い知性とたくましい心身を養うとともに、自主自立の精神を有する、地域のリーダーや国際社会で活躍する人財を育成する。

4つの柱

論理的思考
Logical thinking

豊かな創造力
Creativity

協働する力
Collaboration

自主自立
Independence

- ◆ 確かな学力の定着とキャリア教育の充実
- ◆ 特別活動の充実とコミュニケーション能力の向上

- ◆ 規律ある生活習慣の確立と人権尊重の精神の涵養
- ◆ 附属中学校との連携による校内体制の活性化

豊かな人間性

自ら問いをもち、課題の解決に主体的、創造的、協働的に取り組み、夢や志に向け自己実現を図っていく生徒

- ・ 自主自立の精神や豊かな創造力の育成
- ・ 生徒会活動、学校行事など生徒主体の活動推進
- ・ 附属中学校の生徒との異年齢交流

健康・体力

生涯にわたり健康の保持増進を図り、たくましく生きる生徒

- ・ 心の教育の充実と規律ある基本的生活習慣の確立
- ・ SC・SSW等、専門家との連携による教育相談体制の充実
- ・ 清潔、安心、安全で快適に学べる教育環境の整備

資質・能力の育成

確かな学力

何ができるようになるか

地域や国際社会での活躍

- ・ 自主自立の精神や他者を思いやる心
- ・ 附属中学校と連携した生徒主体の活動による、よりよい人間関係を築くコミュニケーション能力

何が身についたか

「評価力」の向上

- ・ PDCAサイクルを構築し、教育課程や学習計画・指導計画の評価と改善を実施する。
- ・ 生徒自ら学びを振り返り、個人評価・相互評価を行う

目指す生徒の姿

グローバル(global+local)な視野を持ち、他者と協働して課題を解決する姿

生徒の発達をどのように支援するか

- ・ 全職員、関係機関等と連携した支援
- ・ 附属中学校との情報共有と連携
- ・ 学校内外の相談窓口の周知の徹底

生徒の実態

基礎的学力や基本的生活習慣は身に付いているが、自ら課題を発見し解決する力は十分でない

何を学ぶか

論理力・創造力

- ・ 多様な指導を反映した柔軟な教育課程の編成
- ・ わかる授業や対話的・協働的授業の展開

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学びの推進

- ・ 将来に向けて再現性のある学び方を習得する
- ・ ICT教育による学習活動の充実と質の向上を図る

実施するために何が必要か

- ・ 附属中学校、家庭や地域、海外姉妹校等との連携
- ・ 生徒が主体的に参加できる学校行事や校外活動の充実
- ・ 校内研修の充実と外部研修会等への積極的な参加
- ・ ICT利用環境の整備と充実、活用方法の研究

安心・安全を守る

- ・ 家庭・地域・警察等と連携した危機管理体制の整備
- ・ 学校教育活動全体を通じた安全教育の充実
- ・ 地域の関係機関との連携・協力

開かれた学校づくり

- ・ 学校行事や学校公開等を活用した、家庭・地域との連携
- ・ 学校案内、進路だより、学校通信、HP等による積極的な情報発信
- ・ 地域で活躍する人材の活用と行政や事業所等との連携の推進